

個別事業費	2, 986 千円
交付金額	1, 493 千円

地域の実情と課題

- 令和3年度に民間研究機関が実施した調査において、管理職業務に関するすべての調査項目で男性より女性の方が強く不安を感じる割合が大きいという結果があったほか、県が過去に実施したセミナー参加女性からも、ロールモデルや相談できる女性がおらず、孤立しているとの声も聞かれた。
- また、令和3年度版男女共同参画白書では、女性の働きにくさの背景には、家庭における性別役割分担意識に基づく家事・育児負担が女性が働く際の負担となっているという特徴がみられた。
- 女性活躍の推進のためには、個人に対するキャリアアップへの意欲喚起や、男性への家事・育児参画を促す意識改革が必要な状況である。

事業の特徴

- (1) 女性活躍ネットワークづくり支援事業
キャリア形成、仕事と家庭の両立などについて、悩みや不安を抱える女性が、ロールモデルと交流し、悩みを相談し合える女性同士のネットワークを構築・拡大を図った。
(2回開催／1回の定員20人程度)
- (2) 男性の家庭生活参画促進事業
男性の家庭生活への参画を促進するための講座を撮影し、若い世代に参加してもらえようYouTubeで一定期間配信を行った。さらに、視聴環境がない方向けに会場参加型のリクエスト上映を実施した。
(配信：4回 リクエスト上映2回 延べ238人参加)

事業の効果

事業で実施したアンケート調査において、事業内容について「満足」、「やや満足」と回答した割合は回答者の91.4%となった。女性のマインドアップや男性の家庭生活への参画促進に向けて、一定の効果があったものと考えられる。

- (1) 女性活躍推進ネットワークづくり支援事業における参加者の感想
「会社からの管理職就任要請に悩んでいたが、背中を押してもらった」、「同じ地域でバリバリ働く女性にで合うのが難しかったので貴重な機会となった」、「同じ悩みを抱えている女性が多くいるのを知り、気持ちが楽になった」など
- (2) 男性の家庭生活への参画促進事業における参加者の感想
「自分も育休をとったがその時にこんな講座があればよかった」、「給付金や育休復帰前シミュレーション等大変勉強になった」など

目的・目標

【目的】

女性が少ない職場など、相談相手やロールモデルがいない女性に対しても直接働きかけ、こうした女性がロールモデルや他の参加者と交流し、悩みなど相談できるネットワークを作ることで、キャリアや家庭との両立等に関する女性の不安を軽減し、意欲の向上を図る。

また、働く女性の負担となっている家事・育児の女性への偏りに対しては、男女間に根強く存在する性別役割分担意識を変え、男性の積極的な家事、育児等への参加を促すための意識啓発を図る。

【目標】

事業参加者に対するアンケートで「満足」、「やや満足」と回答した割合 80%以上

連携団体

- ・経済団体(商工会議所、商工会等)
- ・市町村
- ・ダイバーシティ推進実行委員会おかやま(岡山大学、岡山経済同友会、岡山県で構成)

今後の課題

女性活躍ネットワークづくり支援事業については、キャリア等に関して悩みを抱える女性が多いにもかかわらず、仕事や家事育児により、参加してもらうことが難しい状況にある。今後は、オンライン配信により、女性が時間や場所を気にせず受講できるよう、一定期間のオンデマンド配信の手法による啓発を検討する。

男性の家庭生活参画促進セミナーについては、より男性の関心が高そうな講座を増やす工夫を行った結果、男性の参加者は増えたが、それでも女性参加者の方が多かった。家事・育児への参画に関心がない男性にアプローチする効果的な手法について検討を行う。

女性活躍推進ネットワークづくり支援事業

11月に創業希望者向け、1月にキャリアアップ希望者向けの交流会を開催。起業したり、企業の管理職として活躍する女性に自らの経験を共有した後、参加者が抱える様々な悩みなどについて、質疑や意見交換を実施。最後に参加者同士で交流を図った。



男性の家庭生活への参画促進事業

男性の家庭生活への参画を促進するための講座として、時間や場所を選ばず参加できるよう、4講座・各回1ヶ月間(計3か月間) Youtubeで配信した。

また、Youtubeを視聴できる環境にない方向けに、会場参加型でリクエスト上映会も開催した。(延べ238人参加)

(Youtube配信)

- ・第1回 9/15～10/15配信
- ・第2回 10/1～10/31配信
- ・第3回 11/1～11/30配信
- ・第3回 11/15～12/14配信

(リクエスト上映会)

- ・第1回・第2回 1/24上映
- ・第3回・第4回 1/25上映